

山ごころ

大滝せせうぎ

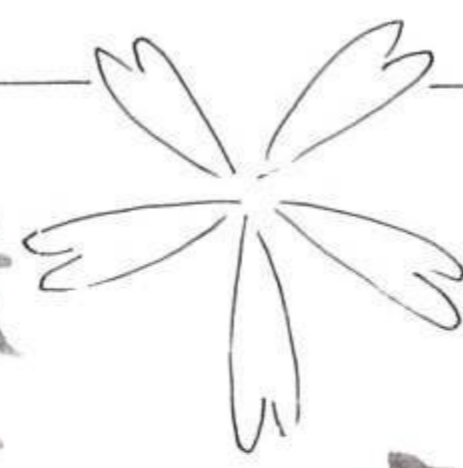
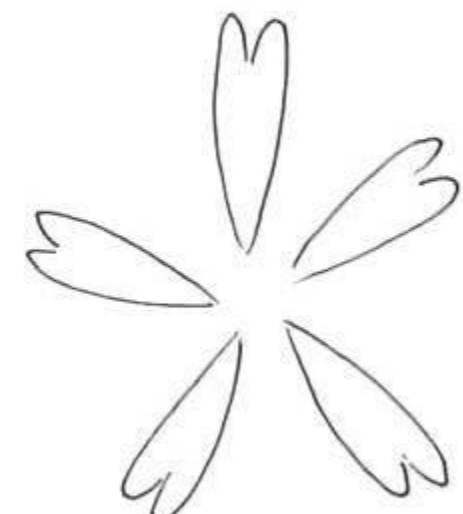
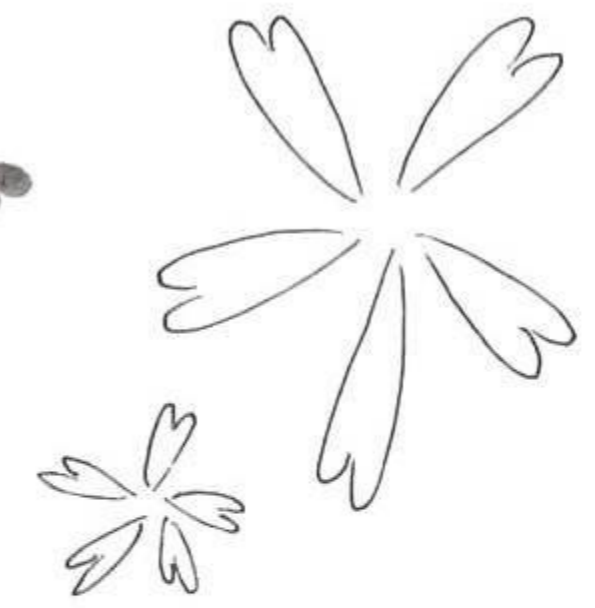
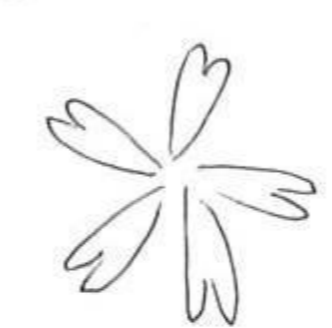
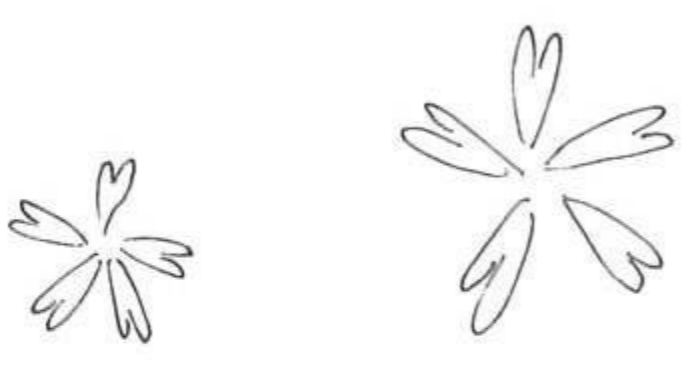
秩父市

地域おこし

協力隊たより

吉本隊員

4月号(No.17)



# 大滝 せせらぎ通信

秩父市  
地域おこし協力隊 吉本隆久

4月号 (No.17)

## 事例発表

3月6日、7日、東京都千代田区の「アーツ千代田にて、「対馬発域学連携フォーラム」が行われました。私は一昨年9月に対馬で行われたイベントに参加して協力隊について知り、そして協力隊の活動に感銘を受け、秩父市の協力隊になりました。今回のフォーラムには大学生が多く参加していたので、私は自分が協力隊になった経緯や現在の活動について発表させて頂きました。

また11日には神奈川県相模原市から視察の方々が訪れ、空き家バンクや協力隊について知りたいとのこと、現在の活動について発表させて頂きました。

現在全国には978名の地域おこし協力隊がいて、それぞれの地域で活躍しています。受け入

れ人数の多い所では20名程受け入れていいる自治体もあります。また今後も少子高齢過疎地域の増加が予想されることから、協力隊を受け入れる自治体も増えていくと思われれます。埼玉県で活動している協力隊は今のところ秩父市で二人だけですが今後受け入れる自治体が増えていく中で、その手本となるような活動をしていきたいと思えます。



\*連絡先\*

秩父市大滝総合支所

0494-55-0862

a92116@city.chichibu.lg.jp

# 起業・事業化研修

3月13日、14日、東京都新宿区にて行われた「定住のための起業・事業化に向けた研修会」に参加しました。研修は地域おこし協力隊が任期終了後に活動地域に定住できるよう、起業や事業化に向けた知識やノウハウを身につけることを目的としたもので、大変勉強になりました。

例えば特産品販売の事業を計画する場合、まず年間売上目標と販売単価、販売日数を設定し、売上目標を達成するためには一日に何個販売すれば良いかを決定します。そしてその目標を達成できる売り場があるか、生産できるかどうか等を考えることが大切だそうです。

私はこれまで定住について、漠然としか考えてきませんでしたが、研修を通して具体的に考えることができました。

## イベント延期のお知らせ

3月30日に予定しておりました栃本地区での開墾イベントは雨のため延期とさせて頂きました。20名以上の方が参加を予定して下さっていたのでとても残念です。農業は天気との戦いだなと改めて感じました。

今回は中止となってしまいました。また日程を調整して開催する予定です。その時はどうぞよろしくお願いたします。

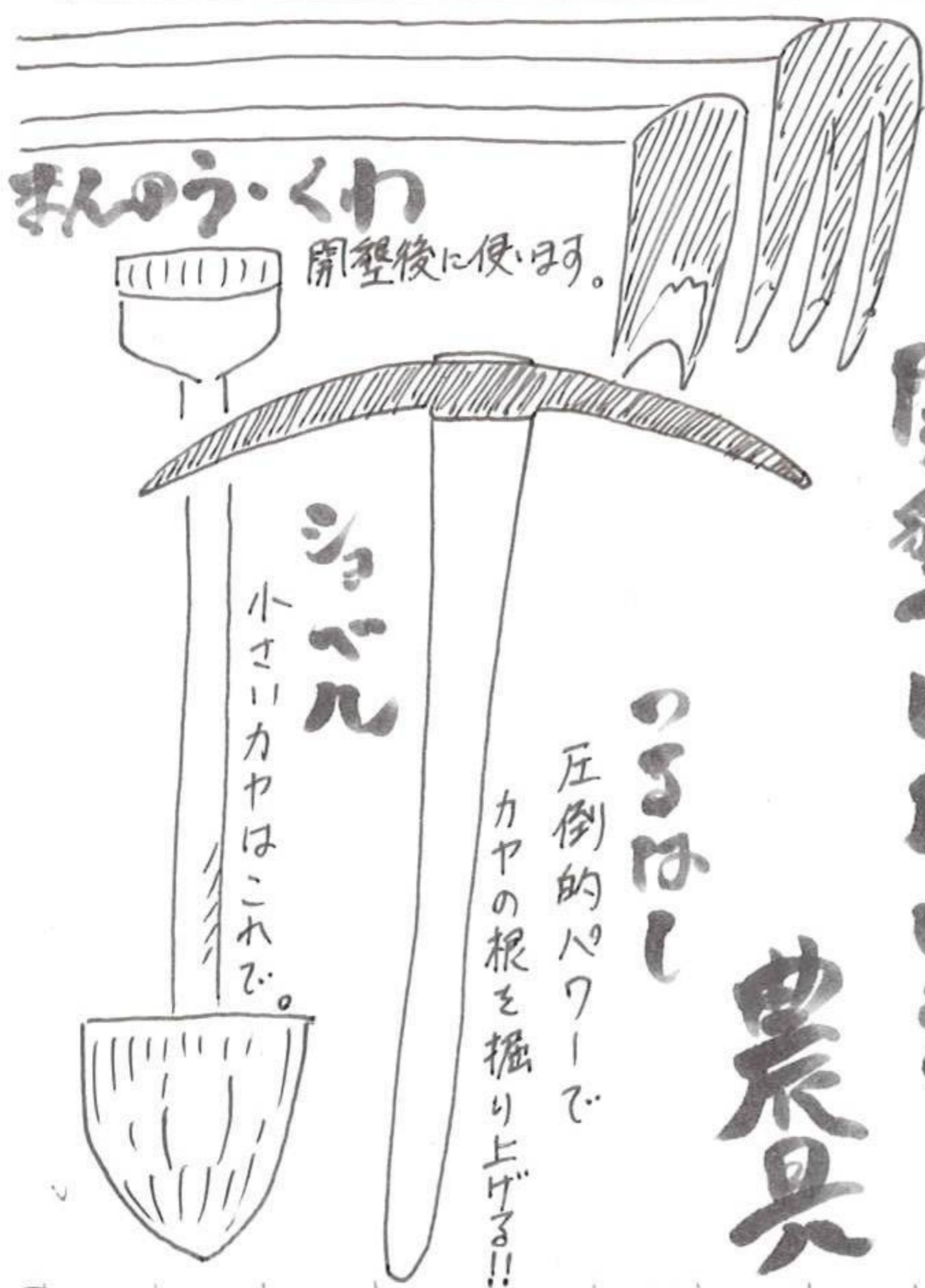
メモ

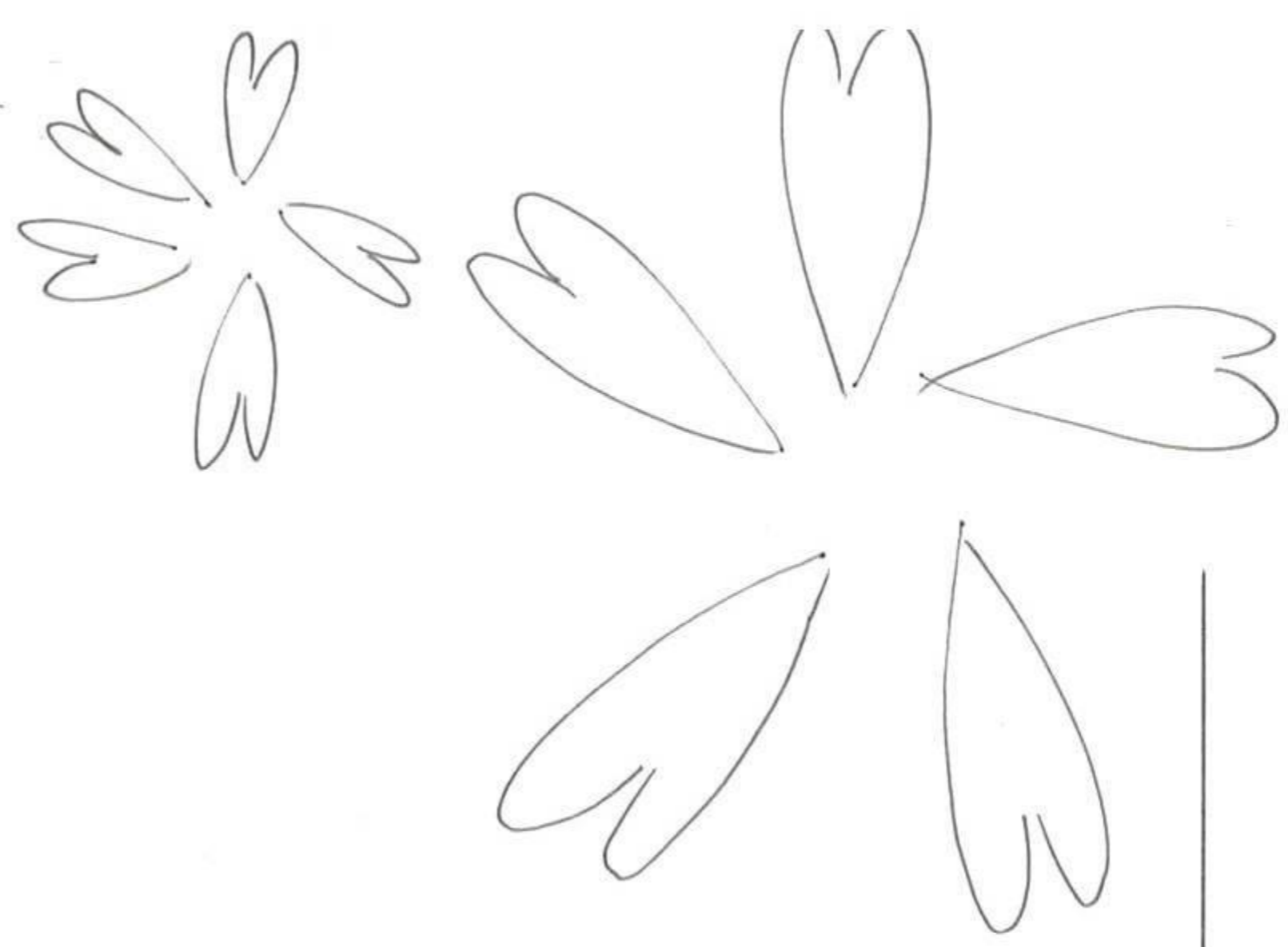
開墾に用いる

農具

のさばし

圧倒的パワーで  
カヤの根を掘り上げます!!





# 芝桜の丘

には

9種類の芝桜が咲き乱れます。  
4月中旬～5月上旬が  
見頃となります。

